

参加
無料

9/3
(金)

WEBにて
開催

東京大学 政策評価研究教育センター x 東京商工リサーチ 共同アンケートに基づく分析

第2回 新型コロナウイルスが経済に与える影響

新型コロナウイルスの経済活動への影響はどうか。
東京商工リサーチと東京大学政策評価研究教育が、調査取材やアンケート調査で蓄積された最新データから、コロナ禍の企業動向を読み解きます。

● 講演内容

15:00 ~ 15:30 倒産減少の陰で広がる「過剰債務」

(株) 東京商工リサーチ 情報部 部長 原田 三寛

2021年1月-7月の企業倒産（負債1,000万円以上）は3,520件と前年同期（4,790件）を26.5%下回りました。一方、過剰債務を抱える中小企業は35.7%に達し、過去最悪の水準です。コロナ禍での資金繰り支援の副作用が顕在化しており、抜本再生や廃業支援も避けられませんが、破産企業の「社長破産率」は約7割にのぼります。経営者保証の問題も絡み合い、対応は一筋縄ではいきません。今回のウェビナーでは、TSRの調査・取材、定期的なアンケート調査で蓄積された最新データから、コロナ禍の企業動向を読み解きます。

15:30 ~ 16:00 リモートワークの企業業績への影響 TSR-CREPE共同アンケートに基づく分析

東京大学大学院 経済学研究科 教授 /

東京大学政策評価研究教育センター (CREPE) センター長 川口 大司

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、リモートワークを導入する企業が増えました。しかし、リモートワーク導入の企業業績への影響はまだよくわかっていません。東京商工リサーチと政策評価研究教育センターでは企業アンケート調査を実施し、リモートワークを企業がどの程度導入しているかを調べました。分析の結果、リモートワークの導入はコロナ禍の企業業績への影響を和らげることが明らかになりました。また、リモートワークが今後どの程度継続していくかについての見通しをご紹介します。

● 開催概要

[日時] 2021年9月3日(金) 15:00 ~ 16:00

[開催] Zoomを使ってのウェビナーとなります。

[費用] 無料

● お申し込み方法 ※お申し込み締め切り日：9月2日(木) 正午

1. 以下のURLまたは二次元バーコードにアクセスし、セミナー申込ページにお進みください。

※本セミナー専用のURLにリダイレクトします

https://contact.tsr-net.co.jp/SeminarRegist_1503_20210903

2. 必要事項をご入力の上、「送信」ボタンをクリックしてください。

3. オンラインセミナー開催前日の9月2日(木) 15時頃にセミナー参加用のURLをご登録メールアドレス宛にお送りしますので、当日の開催時刻になりましたら、そのURLからお入りください。



お問合せ：株式会社東京商工リサーチ マーケティング部
〒100-6809 千代田区大手町1-3-1 JAビル
TEL: 03-6910-3195 eMAIL: marketing@tsr-net.co.jp